

第4回川柳中学校学用品検討委員会記録

- 1 日 時：令和7年10月20日（月） 午後1時15分～午後4時40分
- 2 場 所：越谷市役所第二庁舎 3階 教育委員会室
- 3 内 容：・通学バッグ選定プロポーザルにおける審査・採点方法の確認
・各メーカーのプレゼンテーション
・集計結果発表・意見交換(審査講評)
- 4 議 事 録：以下のとおり

発言者	発言内容
(13:15 開始)	
通学カバン選定プロポーザルにおける審査・採点方法の確認	
事務局	(資料2 ページ) 次第に沿って、大きく3点の柱で進めさせていただく。 1点目として、審査・採点方法の確認。2点目として、通学カバン選定プロポーザル。こちらが本日のメインとなっている。3点目として、集計結果発表・意見交換の流れを予定している。 非常にタイトなスケジュールの中、委員の皆様には審査・採点を行っていただく。この後の議事進行については、委員長にお願いする。
委員長	先月の体育着・ジャージ選定に引き続き、本日は通学カバンを決める「メーカー選定」を行う。次第の1「審査・採点方法の確認」については事務局からご説明いただく。
事務局	(資料3 ページ) 今回、参加表明いただいた事業者が4者、上からPolaris、フットマーク、トップエース、マルヨシとなっている。 この後この4者がプレゼンテーションを行う。 (資料4 ページ) 13時35分より1者目のメーカーが入室する。その後、メーカーのプレゼンテーションが行われる。プレゼンテーション開始、10分経過、終了3分前、終了1分前、プレゼン終了の合図を事務局が行い、その後、質疑応答に移る。発言の際は、自己紹介等は省き、質問のみ行っていた。プレゼン同様、開始、終了のアナウンスを事務局が行う。 その後、メーカーが退室する。採点表はプレゼンテーション中、退室時間に記入していただく。全てのメーカーのプレゼン終了後、採点表の最終記入時間を10分設けるので、判断に迷われる項目等はこの時間を使っ

て、記入していただく。採点表は最後にまとめて事務局が回収する。

(水色表紙参考資料 1 ページ)

タイムテーブルに具体的な時間と共に詳細を記載しているので、こちらを適宜ご確認いただきながら、審査・採点を行っていただく。

今回、参加表明のあったメーカーが4者だった。前回会議でお示したタイムテーブルから変更になっており、会議全体の終了予定時刻は16時40分となっている。

(資料 5 ページと水色表紙参考資料 2 ページ)

採点は、A・B・C・Dの4段階で記入し、評価の根拠をコメント欄に記入する。事前に配布している採点表には記入例が付いているので参考にさせていただきたい。

また、採点は企画提案書、プレゼンテーションの内容、質疑応答の3つをもとにして行う。採点表集計の結果、平均点が最も高い事業者が通学カバンの作製メーカーとなる。平均点が最も高い事業者が複数あった場合は、その事業者の中で、各審査委員による決選投票を行い、メーカーを決定する。

決選投票の際に使用する投票用紙は、参考資料 3 ページのとおりである。こちらは決選投票となった場合に事務局が改めて配布する。

(資料 6 ページ)

「どういう視点で評価すればいいのか」ということに関して、採点評価表の「評価の視点」を基準にこちらにお示ししているポイントを踏まえて評価していただく。

今回は、体育着・ジャージとは異なり、通学カバンを選定する。そしてその通学カバンを扱っているメーカーが紐づいて選定される。そこで、生徒や保護者が求めているものに対応できるかという技術力や、プレゼンテーションを通じて、根拠に基づいた提案・説明ができているか等、「メーカーからの提案製品を選定するための評価」をしていただきたい。

(資料 7 ページ)

今回の選定手法であれば、「メーカーAはデザインが凝っていて、「方針1～5」の基準を踏まえたデザイン提案ができている。この製品なら川柳中学校のカバンとしてもマッチしているから、メーカーAの評価を高くしよう」という風に評価をしていただく。

よって、「各メーカーから提案された製品サンプル」イコール「川柳中学校の通学カバン」ということになる。

委員長 事務局	(資料 8 ページ) 今回、各メーカーのプレゼンテーションにおいて、質疑応答の時間を 5 分設けている。質疑のポイントとしては、評価や判断に迷うものがあれば積極的に質問をしていただきたい。 先程申し上げたとおり、「質問し損ねてしまった」とならぬようご対応いただきたい。 ただいま事務局から説明があったが、皆様の方からご意見・ご質問等があれば挙手をしていただき、お話しいただきたい。 (意見等なし) これまでの会議、先程の説明を踏まえて、審査・採点評価をしていただければと思う。それではこの後、参加表明のあった各メーカーによるプレゼンテーションが行われるが、プレゼン参加者からの説明、検討委員会委員からの質疑となるので、議事の進行は事務局に引き継ぐ。 これより、プレゼンテーションを行うための準備を進めさせていただく。1 番目のメーカー入室は、1 3 時 3 5 分からとなる。
メーカーのプレゼンテーション	
構成員 担当者 委員長 担当者	【(株)Polaris によるプレゼンテーション】 (プレゼンテーション終了後、質疑応答) 反射板は価格に含まれているのか。 その通りである。反射材がデザインにないタイプのバッグには 1 個付属となる。反射材をデザインに入れた上で、反射板を付けるとプラス 2 0 0 円となる。反射板に学校の名前を入れることも可能である。 平和堂以外の販売店で扱うことは可能か。 条件が合えば可能である。
委員長	【フットマーク(株)によるプレゼンテーション】 (プレゼンテーション終了後、質疑応答) 平和堂等以外に販売店を増やすことは可能か。

担当者	可能である。
構成員	反射材の劣化具合はどの程度か。3年使用したら剥がれてくるか。
担当者	以前の反射材からアップデートされていて品質は向上している。水が入りにくい素材となっている。3年間使用すると剥がれはゼロではない。
事務局	価格はレインカバーも含めたものか。
担当者	レインカバーも含めた価格である。
	【トップエース(株)によるプレゼンテーション】
構成員	(プレゼンテーション終了後、質疑応答) 手持ちの部分やメッシュの部分の耐久性はどの程度か。
担当者	JIS 規格の基準を満たしたものである。メッシュの部分も鋭利なものを入れなければ通常使用において強度に問題はない。
事務局	これまでの破損した例にはどのようなものがあるか。
担当者	あまり破損例がない。ファスナーが壊れた例はある。
構成員	ファスナーが壊れたら修理は有料か。
担当者	無料である。3年間の保証がある。
構成員	誤った使用例の「水濡れ」とはどのようなことか。
担当者	例えば、バッグの中でお茶をこぼしたり、お弁当の汁がついてしまったりして故障に繋がった場合のことである。
	【(株)マルヨシによるプレゼンテーション】
構成員	(プレゼンテーション終了後、質疑応答) レインカバーの価格はいくらか。
担当者	1000円を切る程度である。

構成員	手提げ部分の強度が心配である。破損例にはどのようなものがあるか。
担当者	破損例はあまりないが、手提げ部分の強度については本日のご意見を参考にさせていただく。
構成員	タブレットポケットのカバーが薄いのが気になる。タブレットは破損しないのか。
担当者	タブレット破損の実例はない。タブレットポケットの底の部分が地面につかないような構造になっている。
事務局	バッグの底が薄いのが気になる。すれ等が心配である。
担当者	底板が入っていても底は擦れる。底が抜けることはない。
事務局	底板がないと不安である。鋏もついていない。
担当者	様々な方のご意見から軽量化を優先して作っている。
事務局	各メーカーからのプレゼンテーションは以上である。これより採点表の最終記入時間とする。全体の振り返りや調整を行っていただき、記入を終えた方から、4者全ての採点表を回収する。記入を終えた方から適宜休憩とする。
集計結果発表・意見交換(審査講評)	
事務局	これより集計結果の発表を行う。事業者毎の評価平均点を発表した後、体育着・ジャージを作製するメーカーを発表し、その後、意見交換を行う。 まず、(株)Polarisの評価平均点は、「98.1」点。 次に、フットマーク(株)の評価平均点は、「82.9」点。 次に、トップエース(株)の評価平均点は、「68.4」点。 最後に、(株)マルヨシの評価平均点は、「65.3」であった。 以上の結果により、評価平均点が最も高かった『(株)Polaris』を作製メーカーに決定する。 (採点表返却・意見交換)

事務局	今後、反射板を付けるかどうか等の仕様については、私どもがメーカーと打ち合わせをした上で、委員の皆様からご意見をいただきながら決めていきたい。
その他	
事務局	次回は、11月21日（金）、13時00分～15時00分、場所は本日と同じ会場の第二庁舎3階教育委員会室で実施する。次回は体育着・ジャージを作製するメーカー「カネマス」を招聘し、サンプルの提示やデザインや仕様の検討を実施する。正式な開催案内は、すでに送付しているのでご確認ください。 また、本日のプロポーザル結果については、10月中に全ての参加事業者に通知する。同時期にホームページ上にも公表する予定である。
(16：30 終了)	